

【令和3年度 事業報告 重点項目】

1. 養育・自立支援

令和3年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ①運用を開始した養育ハンドブックを踏まえた共通のきまりの検討、及び、職員間で共通認識を持てるような養育スキル（CARE、CSP等）の検討 ②児童自立支援計画書作成の手順や作成方法等を再検討の上、文書化 ③児童自立支援計画書策定会議への担当心理士参加を検討
令和3年度報告	<ul style="list-style-type: none"> ①どのような養育スキルの修得が効果的なのか検討を行い、CAREの研修を2回実施した（全未受講職員対象）。 ②児童自立支援計画書作成の手順や作成方法については検討を行い、職員間で共有した。 ③担当心理士の参加を検討し、2022年度より参加できる枠組みを作った。

2. 人材確保

令和3年度計画	<p><人材確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ①SNS利用の検証 ②キャリアプランの作成の検討と周知
令和3年度報告	<p><人材確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ①SNS利用の検証を行い、今後の発信内容などを検討した。次年度以降は効果的な発信ができるよう、広報委員会と連携して発信することを計画。 ②入職希望者向けにキャリアや状況における給与例を提示した。また、キャリアアップ計画シートを導入し、管理職との面談時にキャリアについて話し合う場を持った。

3. 人材育成

令和3年度計画	<p><人材育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ①グループの職員5人体制の効果的な人材配置や業務内容等の検討 ②サポーター制度の見直し、検討 ③人材育成のためにケアワークに携わる職員全員に個人ファイルを配布し、同じ内容を同じように学べる仕組みづくりの土壌をつくる。
令和3年度報告	<p><人材育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ①全グループ職員5人体制になるにあたり、管理職間で効果的な職員配置について適宜検討の上で配置を行った。また、リーダー会議内のプロジェクトでも5人体制に向けてどのような取り組みが必要かを検討し、全リーダー職員にフィードバックを行った。 ②サポーター制度の見直し、検討を行った。令和4年度はサポーター制度のみならず、管理職の役割等も整理してグループをサポートする予定。 ③計画通り、全職員が同じ内容物の入ったファイルを配ることができた。



4. 運営管理（事業継続・修繕・その他）

<p>令和3年度計画</p>	<p><事業継続></p> <p>①各種 BCP の効果的な運用のための検討・見直し</p> <p><修繕></p> <p>①令和3年度：木根川ホーム：外壁塗装（予算：600万円）</p> <p>②令和3年度：新小岩ホーム：外壁塗装（予算：240万円）</p> <p><その他の運営管理></p> <p>①令和5年度よりフォスタリング事業の受託を目指した会議の実施（1/1M）</p> <p>②グループの垣根を超えた支援体制の検討</p> <p><特記事項></p> <p>①全児童のアレルギー検査の実施：新入所児童は全員、入所児童は何年度かに分けて検査の実施とするが、アレルギー症状のある児童を優先とする。</p> <p>②車両入替：令和3年度より車両の入替を計画（本園車両についてはハイエースを検討、各グループ車両については7人乗りを計画）</p>
<p>令和3年度報告</p>	<p><事業継続></p> <p>①BCP 作成については法人内事業所との連携や共同作成を視野に入れ、その初回となるミーティングを行った。</p> <p><修繕></p> <p>①計画通り実施することができた。長期的に安心して生活ができるように防水加工処理をしたことから、当初予算を超えている。</p> <p>②新小岩ホームについては別件の事情により、次年度以降に持ち越しとなった。</p> <p><その他の運営管理></p> <p>①年度当初は複数回会議を実施したが、葛飾区のフォスタリング事業については、令和5年度葛飾区児童相談所開設当初は児童相談所が担う予定との話を受ける。今後の動き次第で会議や打ち合わせを再検討予定。</p> <p>②グループの垣根を超えた支援体制を整えるためにも、業務の標準化や希望の家の養育の価値観をそろえるための取り組みに力を入れた（マニュアル類の整理・配布、養育ハンドブック等）。</p> <p><特記事項></p> <p>①新入所児童に加え、アレルギー症状のある児童の一部についてアレルギー検査を実施した。</p> <p>②計画通り、ハイエースとシエンタをそれぞれ1台ずつ購入し、入れ替えることができた。</p>

